

## 支部の財布

支部長 鹿野 由貴

かのヴィクトル・ユーゴーは「財布が軽くなるほど心が満たされる」と言ったそうですが… 今回は支部の財布のお話です。

昨年の支部総会にて、37年ぶりの会費値上げが承認されました。年額1,000円だった会費は今年から2,000円になります。実はこの発議に至るまで、評議員会で議論を重ねること2年。年代の枠を超えた評議員たちの堂々とした、しかし冷静な、時にはジョークも交えての論議は、どの回も聞き応え抜群！さすが西高卒業生集団！とまあ、提案者たる支部長にあるまじき他人事発言はご容赦頂きたい。その中に支部沿革に沿った先輩たちの意見がいくつかありました。

経緯を経て支部が今の形になった昭和57年、第一回再生支部総会を東京プリンスホテルで開催したところに、年会費を1,000円に定めたそうです。それから今日まで、物価上昇などの要因から支部の財布には度々の危機が訪れたのです。



どのようにして乗り越えてきたのでしょうか。

それは時の支部長たちを先頭とし、削れるものは片端から削減してきた組織努力に他なりません。総会ステージの看板さえも、この大鉈から逃れることはできませんでした。まあ、役員や評議員は基本的に手弁当での活動だ、ということがその前提とはなっています。人件費という文字は、支部の辞書には無いですからね。という訳で、企業などが最も頭を悩ませる人件費の上昇が無い分、なんとかこまめで凌いでこられたのです。しかしこれも底を付きました。

一方、今回の値上げ提案には「未来を見据えて」下した要因も大きいのです。昨年度から導入したセキュリティーシステム、名簿・入金管理一元化システムは、経費が伴うとは言え、世の流れに即しての決断でした。更に言えば、システム推進と作業効率化は連動しており、庶務や会計担当者の負担軽減が期待できます。

軽くなっていく支部の財布を、英知と努力で補ってきた先輩方。今ある私たちがその先へとバトンを繋ぐためには会員各位のご理解とご協力が欠かせません。



## 未来への投資 ～新型コロナウイルス騒動寸感～



顧問 田中克子(昭和32年卒)

コロナウイルス感染の騒動が連日報道され始めていた2月下旬のある日、私は夫から「コロナを背負って来るな。」と言われながら、外出した。

予約していた渋谷区にある美容室は嘘のように落ちており、美容師たちの表情も実に明るかった。が、その疑問はすぐに払拭された。従業員の不安の声にトップはすぐにマスクとイオニアカード(身につける空気清浄器だとか)を従業員に配布したのである。しかもイオニアカードは家族にまで提供したと言う。若い美容師は「ここに勤めることができ感動しています。コロナごときに負けてはいられません。」と首にイオニアカードを掲げて私の頭をシャンプーした。何があっても生き残れる美容室かもしれない。トップは目の損失に左右されず未来へ投資できる企業主なのだろう。日本国のトップも真似て貰いたいものである。

美容室を出た後、私は夜の新宿に向かった。ボランティア活動「外国にルーツを持つ子ども達の学習支援」に参加するためである。

「あの子ども達が日本で生きていくには、高校にも進学できて、就労もし、日本人のパートナーとなって欲しい。」と願うKさんに賛同して、私はこの活動を続けること、15年目を迎えた。キャップであるKさんは、学習支援のみに留まらず、コロナウイルス感染の拡大中は、学校の休業で居場所がなく困惑している子ども達のサポートに奔走していた。子ども達の未来の投資に力を惜しまない人である。

そして、この嚶鳴同窓会東京支部でも、鹿野支部長さんをはじめ役員は、仕事を持っている方はコロナ感染予防の変則的な勤務態勢の中で、同窓会のコロナ対応に奮闘していた。都立高校卒業式縮小の要請が出たその日に母校の新卒業生に東京支部からのプレゼント等が届くよう手配したり、総会までコロナ感染が終息しなかった場合も想定して検討を重ねていたのである。

これからも嚶鳴同窓会東京支部は、感度のよいアンテナと素早いフットワークで、想定外のことも乗り越えていくであろう。

**2020年6月7日『ホテル椿山荘東京』にて開催予定の嚶鳴東京支部総会は中止といたします**

新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、支部では総会開催の是非について2月下旬より検討を重ねてまいりましたが、現状では会員の健康・安全面が担保できる確証を得られないと判断し、中止の決断をいたしました。年に一度の、会員が一堂に会する機会を持てなかつたことは残念ですが、来年の支部総会に向かって役員一同頑張る所存です。

尚、支部会費のお振込みをお願いしております。昨年の総会で支部長が説明したように、物価上昇や経費節減の限界等の理由から、支部の会計は大変厳しい状況です(下記 会計報告参照)また、総会開催中止に伴う予定外の経費も発生しております。同封の振込票、若しくは「中止お知らせ」裏面に記載している方法にて **1口 ¥2,000** の年会費の納入をお願いいたします。

**☆☆予告 【来年の2021年 嚶鳴同窓会東京支部総会 について】 ☆☆**

**2021年6月13日(日) ホテル椿山荘東京 ホテル棟 1F ボールルーム**

総会の新たな会場ホテル椿山荘東京の、素晴らしい庭園や美味しい会席料理をお楽しみに1年間お待ちください。来年の6月こそは、皆さま方とお会いいたしましょう！

**2019年度 活動報告**

1月	16日	新旧役員会・監査・引継ぎ
2月	13日	第1回評議員会/役員・総会準備学年会
	28日	東京支部プレゼンテーション(本部同窓会入会式にて)
4月	17日	総会準備学年打ち合わせ・案内状準備
	17日	第2回評議員会/役員・準備学年会
5月	29日	第3回評議員会/役員・準備学年会
6月	8日	総会準備最終打ち合わせ(於:ホテルオークラ東京)
6月	16日	嚶鳴同窓会東京支部総会(於:ホテルオークラ東京)
	26日	役員会
	29日	第4回評議員会/役員・準備学年反省会
9月	16日	山形県人東京連合総会・やまがた県人まつり
10月	20日	総会準備学年引継ぎ会(平成4年卒から平成5年卒へ)
11月	13日	新旧役員会
	17日	嚶鳴同窓会本部総会出席

**2020年度 東京支部役員**

支部長	鹿野 由貴 (S48卒)	監 査	宮沢 厚子 (S36卒)
副支部長	川田まき子 (S47卒)		四津 明美 (S54卒)
"	野本 明美 (S51卒)	顧 問	田中 克子 (S32卒)
庶 務	村林 三恵 (S52卒)		笠井ひで子 (S44卒)
"	森山倫永子 (S53卒)	<b>総会準備学年(平成5年卒)</b>	
"	河村 美雪 (S53卒)	代 表	西崎 淳子
会 計	城 幸子 (H1卒)		田村 晶子
広 報	武部美智子 (S61卒)		田中 祥子
"	澤田香央里 (H1卒)		鷺田 智子

◇ 庶務・会計は、学年の順送りとなっており、当該学年より推薦されます。監査については、支部長が選任しました。

嚶鳴同窓会東京支部の情報はこちらでも発信しています。

ホームページ <http://www.oumeitokyo.net/>

メールアドレス [dousoukai@oumeitokyo.net](mailto:dousoukai@oumeitokyo.net)

支部へのご登録・連絡先変更・お問い合わせは、

ホームページの「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください



Facebook、Twitter、Instagram、LINEは、@oumeitokyo で検索

**2019年度 会計報告**

支部長 鹿野 由貴  
会 計 亀岡 利恵, 木下真智子, 城 幸子

**<一般会計>**

<b>1.収入の部</b>	
前年度繰越	1,680,860円
年会費	988,100円
総会会費	2,880,000円
特別会計より新卒生総会参加費補助	30,000円
本部より助成金	150,000円
ご祝儀	110,000円
雑収入	12円
計	5,838,972円
<b>2.支出の部</b>	
会議費	181,326円
印刷費	82,490円
事務用品費	9,142円
通信費	218,544円
渉外費	66,360円
役員・準備学年活動費	152,410円
事業費	3,608,766円
総会	3,274,150円
東京支部プレゼンテーション	2,300円
ホームページ・名簿システム	332,316円
計	4,319,038円

3.差引残高 1,519,934円  
\*1月~6月の運営費として、2020年度へ繰り越し  
\*前年度繰越金を除く本年度収支は下記の通りです  
4,158,112(本年度収入)-4,319,038(本年度支出)=-160,926円

**<特別会計(一筆箋・はがき)>**

<b>1.収入の部</b>	
前年度より繰越	478,035円
一筆箋売上げ	33,500円
はがき売上げ	6,250円
口座利子	4円
計	517,789円
<b>2.支出の部</b>	
新卒生総会参加費補助として一般会計へ	30,000円
計	30,000円

3.差引残高 487,789円  
**<年会費納入状況>** 988口 988,100円

**<会計監査報告>**

帳簿・領収書等を照合の結果、適正に行われていることを認めます。 監査 上妻 元子 宮沢 厚子